

受賞者からのコメント

対象：医学部 4年

医学部心臓血管外科学講座 助教 橘 一俊

「授業を行うにあたって工夫していること」

授業において一番大切なことは、「学生に参加してもらうこと」だと思います。

参加とは一緒に思考し考えてもらう事によって、その答えに至るプロセスを学ぶことです。そのプロセスとは3つのステップであり患者さんの、①症状を把握する診察、②病気を捉える診断、そして③病気を治す治療です。

これらの3ステップを、学生さんに質問を繰り返しながら、進めてゆくスタイルをとり、医師としてすぐに役立つ講義を意識して行ってきました。

参加者ほぼ全員に3～5回程度、質問に答えて頂いています。

私の専門は心臓血管外科ですので、命がけの手術をリアルなイメージをもって伝える事はもちろんですが、なぜその手術が必要なのかを生理学の段階から掘り下げて一緒に考えてもらうことを心掛けています。

これにより、医師として医学を実践する楽しさ、循環器医療の醍醐味を感じてもらえればと思っております。

「学生への要望・アドバイス等」

卒業して医師免許を取得すると患者さんは、皆さんを「先生」と呼んでくれます。

なぜ「先生」と呼んでくれるのか？それは、皆さんが「全身全霊をかけて」自分たちの病気と向き合ってくれると信じているからです。

信じて「命をあずけて」くれるのです。

その思いに応えるためには、日々知識を蓄積し、技術を磨いてゆくと言った「最大限の努力」が必須です。その努力を決して怠ってはいけません。その努力は今から始まっています。

みなさんが「先生」と呼ばれ、医師として共に闘える日を楽しみにしております。

最後にひと言。講義中のしつこい程の質問に一所懸命応えてくれてありがとう。